

●ワークショップによる住民参加型まちづくり

八尾木五丁目に新しい公園ができます。整備にあたっては「わたし たちの公園」として身近に感じていただけるよう、地域の皆さんから ご意見を伺いながら進めていきたいと考えており、合計4回のワーク ショップ開催を予定しています。去る9月16日に、第1回目のワーク ショップが開催されました。その内容をこのNEWSでお知らせします。

●ワークショップの進行

- ■日時:平成29年9月16日(土) 14:00~16:00
- ■場所:曙川コミュニティセンター 2階集会室

14:00

- はじまりのあいさつ
- (仮称) 曙川公園ワークショップの 主旨説明
 - ・ 公園整備事業の概要
 - ワークショップとは?
- 公園計画地をスライドで観察

14:30

- ●グループワーク(前半)
- 『公園とまちの夢を描こう!』
- ・公園の利活用を考える
- ・公園の将来像を考える
- ・公園のキャッチコピーを考える

- 15:30 ●発表とまとめ
 - おわりのあいさつ

16:00 終了

第1回目のワークショップでは、

公園整備事業の概要や 意見交換の進め方について説明の後、 グループに分かれて

公園の利活用の方向性や将来像に ついて意見交換をしました

(仮称) 曙川公園ワークショップとは?

はじまりのあいさつの後、(仮称) 曙川公園整備事業の概要や ワークショップによる意見交換の進め方・内容・スケジュール等に ついて説明がありました。

ワークショップとは、参加する人が意見やアイデアを出し合い、 お互いの考えを学びながら、意思決定をする場のことで、(仮称) 曙川公園ワークショップでは、グループに分かれて、カードや図を使 いながら意見交換を進めていきます。

┌((仮称)曙川公園整備事業》

- ●事業位置:八尾市八尾木五丁目
- ●面積:約3.700㎡
 ●公園種別:街区公園
- ●事業スケジュール

平成29年度:ワークショップ開催及び実施設計

平成30年度:公園整備工事

《ワークショップの目的》

- (仮称) 曙川公園の計画に、
 - 地域のみなさんの意見・アイデア・想いを反映する
- ●ワークショップを通じて、

公園への愛着・公園愛護の機運と地域力を育てる

ワークショップ会場全景

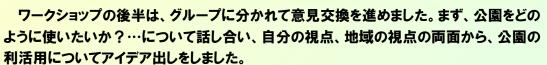
公園計画地をスライドで確認しよう

次に、公園の建設予定地についてスライドで説明があり、敷地 の形や大きさ、周辺の様子(道路や住宅、商店、学校、公園等) について確認をしました。



NEWS 2017年9月16日号

3 グループワーク 『公園とまちの夢を描こう!』



『全ての人に思いやりがある公園にしたいね』『子どもたちがのびのびと遊べる公園に しよう』…など、公園の将来像についても活発な意見交換が進められました。





カードや図を使いながら アイデア出しをしました

4 グループ発表とまとめ

最後に、グループで話し合った内容 を全員の前で発表して、情報を共有し ました。次回ワークショップでは、今回 話し合った内容をもとに、公園に必要 な空間や機能を考えます。

(詳しい内容は裏面をご覧ください)



第2回ワークショップの内容

- ◆日時:平成29年10月21日(土)14:00~16:00
- ◆場所: 曙川コミュニティセンター
- ◆テーマ: 『公園の計画案づくりにチャレンジ』 公園に必要な空間や機能を考えよう
- 八尾市都市整備部 みどり課 (担当)内野 電話 072-924-3851





グループごとに話し合った内容

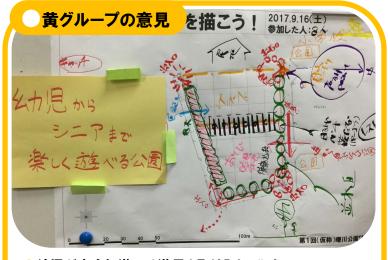
4つのグループに分かれて、意見交換をしました。多様な観点から、公園の利活用の方向性、将来像に ついて検討しました。その内容の一部をご紹介します。※下記の意見は、検討の途中段階のものです。



- ●子どもが思い切り、のびのびと遊べる場所にしたい。
- ボール遊びができる公園が市内に少ないので、この公園で はできるようにしたい。
- ●よもぎをつんだり泥んこをしたり、自然と遊べる空間にしたい。
- 色々な年代の子どもに対応した特色ある遊具も必要。
- ●だんじりの時は、休憩ポイントに使えるといい!
- 季節の感じれられる公園にしたい。春に桜、秋にどんぐり等
- 見通し良く、視線が通りやすい死角のない公園。



- ●ボール遊びのためには、近隣に迷惑にならないような フェンス等の対策や、ルールづくりが必要。
- 幼児用の遊具や児童用の複合遊具も必要。
- ●健康増進のために、公園を一周できるウォーキングコースや 健康遊具があると良い。
- ●四季折々の花やみどり、木陰で安らげる場所にしたい。
- ●防犯と防災のことはしっかりと考えたい。
- 公園周辺の交通安全が最優先課題。



- 幼児が安全に遊べる遊具を取り入れてほしい。
- ボール遊びができる公園にしたい。
- シニアが多いので、シニアにもやさしい公園にしたい。
- ●シニア向け健康遊具があり、グランドゴルフやノルディック ウォーキングができる公園にしたい。
- 幼児からお年寄りまで巾広い世代が遊べる公園にしたい。
- 災害時に役立つ公園にしたい。防災倉庫やかまどベンチ等。
- ●道路から公園への見通しが良く、見守りやすい公園。
 - 子ども達が安全に安心して遊べるように。

一ゴミ箱は不要!



- ●ボール遊びができる公園にしたい。現在は、小学校でボール 遊びをしているが、グランドが使えない時もある。ボール遊び のためには、外周にフェンスが必要。
- ●小さい子どもが安心して遊べるようにしたい。年齢が違う子 どもの遊び場が近いと、ケガ等の危険があるので、遊びの エリアを分けて、安心して遊べるように配慮したい。
- ●近くの公園は、同じ遊具ばかりで面白みがないので、特色の ある遊び場にしたい。
- ●誰もが利用しやすいように、段差がなくバリアフリーな公園に したい。

第1回ワークショップのまとめ

4つのグループの成果を整理し、公園が目指す将来像や利活用の方向性についてまとめました。



公園の将来像

- ●全ての人を思いやり、ふれあいが生まれる公園
- ●子ども達がのびのびと遊べる公園
- ●活気があり、明るく気持ちの良い公園
- ●地域の安全安心を高める公園
- ●季節感があり、美しく、地域らしい個性が光る公園

『みんな仲良し曙川公園 すべての人に思いやり 幼児もシニアも思いきり遊べる公園』

《公園をこんなふうに使いたい!…公園の利活用 6つの方向性》

憩い 環境

- 子ども達が思い切り遊べる
- ボール遊びもできる
- ★ルールづくりやフェンスが必要

■色々な年代の子が遊べる(遊具)

- 親が見守れるベンチや花壇 ■木陰・日陰…みどりの中で休息
- ■雨でも集えるといい
- ■居場所になるような空間
- ■季節感のある美しい公園
- ■四季折々の花やみどり
 - ■身近に自然が感じられる
 - ■ゴミがなく美しい

安心

- **■**ウォーキングやジョギング ノルディックウォーク
- グランドゴルフ
- 大人用の健康遊具
- 防災に役立つ(一時避難場所)
- ■見通しが良く安心できる 安全にアクセスできる
- **バリアフリー**
- ■地域の祭「だんじり」休憩ポイント
- 他の公園と違う個性
- 青少年の居場所
- ■公園のルールがある